



今尾の子



令和5年度 えのき通信
海津市立今尾小学校だより
令和5年11月30日

「ひびきあい集会」



十一月十七日(金)に全校で「温かい心」について考える「ひびきあい集会」を行いました。どこの学校でも大切にしている集会の一つです。仲間と一緒に生活している、どうしても自分のことを優先してしまいがちになります。子どもたちは、今尾小学校の伝統の一つである「あたたかい心」を大切にしています。事前の取組では、「きらきらえのき」に書かれていることを昼の放送で紹介したり、道徳の学習と結び付けながら友達との接し方を考えるなど「温かい心」を育んでいます。「きらきらえのき」に書かれていた内容と、集会で話したことを抜粋して紹介します。



【きらきらえのきカードより抜粋】

- いつも一緒に遊んでくれてありがとうだからボール遊びが楽しいよ。これからも一緒に遊ぼうね。
- いつも「放送聞くよ」と呼びかけていてすごいです。私も真似したいです。
- 間違った入れ方をしてある給食のお皿を直してすごいですね。優しい人です。

【校長の話より抜粋】

廊下に掲示してある「きらきらえのき」を見たり、昼の放送などで、みなさんの温かい行動を聞いたりすることで、校長先生もとてもうれしい気持ちになりました。詩人・宮澤章二(みやざわ しょうじ)さんの『行為の意味』から抜粋要約したフレーズを紹介します。

「いざよはだれにも見えぬけれど、
「こころづかい」は見る事ができます。
また、人の「思い」は見えないけれど、
「思いやり」は誰にでも見る事ができます。

この言葉をどこかで聞いたことはありませんか？想像を超える被害をもたらした東日本大震災の後にテレビで流れたフレーズです。六年生の皆さんが生まれた年なので知らない方もいらっしゃいます。詩の最後はこう結ばれています。

あたたかい心が あたたかい行為になり
やさしい思いが やさしい行為になるとき
心も思いも初めて美しく生きる
それは 人が人として生きることだ

自分がしてもらって「うれしいな」と思っても「ありがとう」と言えないことってたくさんあると思います。せつかく心の中で思ったのであれば、これからは勇気を出して伝えてみましょう。

最後に、お互いにうれしい気持ちになる魔法の言葉を知っていますか？それは「ありがとう」「うれしいよ」「助かったよ」です。これからは自分の気持ちばかりを優先するのではなく、相手の気持ちを考えて行動できるやさしい今尾小学校にしていきたいでしょう。

「自己有用感を高める」



十一月十日(金)「道徳教育計画訪問・協議会」が無事に終了しました。学校では、道徳の授業を中心に「物事を多面的・多角的にとらえること」「相手の立場にたつて考え、想像力を働かせて考えること」を大切にしています。自分自身を理解する視点をもつことは大切です。自分では短所だと思っていたことでも、別の見方をすれば長所にもなり得ます。大切なことは、「どう受け入れるか」ではないでしょうか。一つダメなことがあると、全部がダメと思ってしまうのではなく、目標設定の仕方や実現させるための工夫、自分が努力すること等を明確にして、**自己有用感の高まりを自己肯定感の高まりへとつなげていける**ように支援していきます。

「体調管理の徹底を」



「コロナ」「インフルエンザ」の流行が心配です。十二月中旬には六年生の修学旅行も控えています。手洗いやうがいといった**基本的な予防対策を継続し**、今後もより一層、感染予防の徹底をお願いします。体調等が普段と異なる場合には、無理をしないで自宅で休養してください。ご理解・ご協力をお願いします。(高橋 崇敏)